

3

No.551
MAR.2017

茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<http://www.ikk.or.jp> Email info@ikk.or.jp

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城経協



CONTENTS

- 01 製品・技術 展示会を開催
ものづくり中小企業が、自社製品・技術力を来場者にPR
- 02 県南・県西・鹿行ブロック経営者懇談会を開催
- 03 「第3回会員満足度調査」の結果まとまる
- 05 委員会報告
政策／産業政策／地域関係／青年経営研究会
- 07 支部だより
県北／常陸・那珂／取手・龍ヶ崎
- 09 「平成28年度会員増強運動」の状況
～お蔭様で過去最高更新中 会員数1,106社！～
- 10 新入会員の紹介
- 13 経営者・管理者のための挨拶・スピーチのポイント⑫<葛田一雄>
「話材と聴き手の心を掴むための意識すべき事柄」
- 15 NPO情報Vol.196<横田能洋>
茨城の子ども食堂の現状報告
- 16 セミナー・事業等のご案内

製品・技術展示会を開催 ものづくり中小企業が、自社製品・技術力を来場者にPR



科学技術特別委員会（委員長 村山貢一氏（株）日立製作所 日立事業所長）は、2月2日（木）水戸プラザホテルにおいて、県内の5金融機関（茨城県信用組合、常陽銀行、筑波銀行、水戸信用金庫、結城信用金庫）と連携して、茨城ものづくり企業交流会2017“製品・技術展示会”を開催した。

本交流会は、各社が求める技術水準に適う新たな取引先の開拓に活かしていただくとともに、ものづくり中小企業のビジネス支援の拡大に資することをねらいとして、2009年より実施している。また、教育機関の就職担当の先生や学生生徒の来訪も呼びかけ、ものづくり中小企業の存在や実力を広報・周知するとともに、学生生徒の就職先などの糸口を探る場としても活用いただくことをねらいとして開催した。

第1部の「オープニングセレモニー」では、主催者挨拶として村山委員長より「本交流会の最大のねらいは、出展企業の優れた技術や製品を大手・有力企業を中心とした来場者に存分にアピールしてい

ただくとともに、出展企業同士の販路開拓などにもつなげていただき、皆様のビジネスが拡大することにあります。また、産業支援機関にも出展をいただいておりますので、ものづくり企業の技術力の更なる向上に向けた連携のきっかけとなれば幸いです」と挨拶。

続いて、鬼澤会長より「本交流会は村山委員長のもと、各金融機関様とも連携をして準備を進めて頂きました。本日は日立グループさんなど、30社以上の大手・有力企業の調達部・資材部のご担当者の方々にも、ご来場いただきます。本日の交流会が、出展企業皆様の今後のビジネス発展のきっかけとして活用頂ければと思います」と挨拶。その後、茨城県副知事 楠田幹人様、経済産業省関東経済産業局製造産業課長

齋藤昌子様より来賓挨拶をいただいた後、来賓者および主催者の紹介を行った。

第2部の「製品・技術展示会」では、90社9支援団体が出展し、大手・有力企業34社83名の調達・開発設計・製造部門などの責任者の他、大学・専門学校・高等学校の就職担当の先生・学生・生徒、産業支援機関の関係者、企業・団体など、合計824名の方々が参加した。

出展企業のアンケートでは「数十社の会社から引き合いをいただくことができました。当社の技術が、少しでも企業の皆様の生産性向上等にお役に立てれば幸いです」「大手・有力企業の資材調達部門担当者より、具体的な商談依頼の旨を受けました。今後のビジネス発展に繋がるよう取り組んでいきます」などの感想をお寄せいただき、本格的な面談や商談などをする様子が伺えた。



県南・県西・鹿行ブロック経営者懇談会を開催

土浦・石岡・つくば地区支部（支部長 本井正氏 日立建機（株）執行役開発・生産統括副本部長）、取手・龍ヶ崎地区支部（支部長 九鬼理宏氏 キリンビール（株）取手工場長）、県西地区支部（支部長 佐藤計二氏 日立化成（株）下館事業所長）、古河・坂東地区支部（支部長 阪好弘氏 京三電機（株）取締役社長）、鹿行地区支部（支部長 木村真人氏 新日鐵住金（株）鹿島製鐵所副所長）の5支部は、2月24日（金）、鹿島セントラルホテルにおいて、会員企業間の交流を促進すべく県南・県西・鹿行ブロック経営者懇談会を開催した。約90名の出席により、盛況・有益な懇談会・交流会となった。

鴨川和也鹿行地区支部幹事長（日本メクトロン（株）業務課長）の司会進行で進められ、最初に主催支部を代表して、木村真人副会長兼鹿行地区支部長から「ブロック経営者懇談会は、広域的に経営者間の交流の場を提供するために、複数支部共催で開催しているものです。本日は、地域や業種・規模が異なる経営者の皆様方の交流を深めるとともに、異業種交流を図るプログラムを用意させていただいています。」と挨拶いただいた。

本部役員挨拶として鬼澤邦夫会長からは「本日は、ご多用のところご出席いただきありがとうございます。また、支部長さんをはじめ会員の皆様には経協活動にご尽力いただき感謝いたします。本年度は、

『第7次中期運営要綱』の最終年度でありまして、『会員、地域から頼りにされる茨城経協へと進化する』という基本方向に則り、基本方針として掲げた『5つの重点事業活動』を積極的に展開している所でございます。また、会員増強運動の状況でございますが、年度当初の981社から現在1,098社と、117社（開催前に確認）の純増となっております。本年度の目標1,060社を早い段階で達成できましたのも、本日出席の役員の皆様をはじめ、全支部の役員、幹事、会員の皆様のご尽力があってこそでございます。改めまして御礼を申し上げます。また、6月には、創立70周年の記念式典の開催も予定しております。引き続き、皆様のご協力を頂きながら、実りある事業活動を展開して参ります。結びになりますが、本日は『広域的な交流』を望む会員の皆様の声を受けまして、5支部合同での本懇談会が開催される運びとなった旨を伺いました。皆様にとりまして有意義な交流の場となることを期待致しまして、ご挨拶とさせていただきます。本日は宜しくお願い致します」と挨拶いただいた。

その後、澤畑専務理事より経営者協会の事業報告、鴨川幹事長より前回の同懇談会以降にご入会された新入会員の紹介がなされた。



記念講演会では、昨今のJリーグを賑わせて、茨城県に明るいニュースを届けている鹿島アントラーズの中田浩二氏より『フットボールにおける私のキャリアについて～勝つために必要なこと～』と題してご講演いただいた。

中田氏は「鹿島アントラーズや海外で学んだことは様々ある。特に、海外で学んだ“自分の意見をしっかり伝えること”に関しては、これからの日本にも必要なこと。私自身の今後のキャリアについては、監督ではなく、“チェアマン”を目指し、日々勉強に取り組んでいる」と話された。

講演会終了後には、テーブル毎に意見交換がなされ、交流懇親会に移った。

交流懇親会には中田講師にもご出席賜り、阪好弘古河・坂東地区支部長の乾杯挨拶で始まり、名刺交換が積極的に行われるなど、終始和やかな雰囲気の中で会は進められた。

中締めとして、塙秀雄鹿行地区支部副支部長より挨拶いただき、散会となった。

会員341社から回答、今後の活動に反映 ～「第3回会員満足度調査」の結果まとまる～

当協会では、「第7次中期運営要綱」の「会員・地域から“頼りにされる茨城経協”へと進化する」との目標を実現すべく会員の皆様に経協活動の満足度をお伺いし、今後の活動に活かすため、第3回目の会員満足度調査を昨年11月に実施した。

9つの重点事項に対する満足度の推移は以下のとおりであり、この結果は更なる満足度向上に向けて、支部や委員会活動に反映いただく予定である。

1. 調査時期

11月14日に、1,014社に郵送で調査票を送付。

12月2日までに返信用封筒（メール、FAXでの回答も可）にて回答を依頼。

2. 回答状況

今回 341社／1,014社（回答率：33.6%）

前回（平成27年11月） 321社／939社（回答率：34.2%）

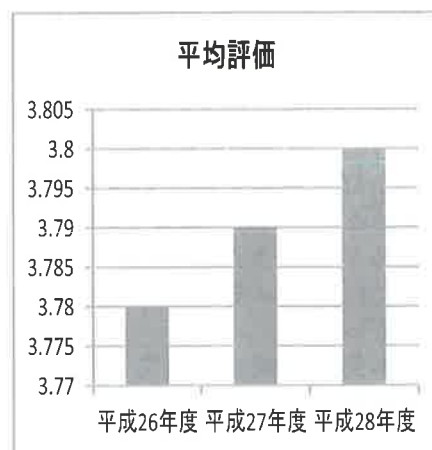
前々回（平成26年11月） 274社／856社（回答率：32.0%）

※参考：会員意向調査（平成25年6月） 235社／721社（回答率：32.6%）

3. 前回との比較

全ての設問の平均評価⇒上昇

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
平均評価	3.78	3.79	3.80
設問1（会員である事）	4.02	3.97	4.01
設問2（会員交流事業）	3.74	3.79	3.78
設問3（情報提供）	3.93	3.94	4.00
設問4（研修・セミナー）	4.01	3.94	3.94
設問5（見学会・視察会）	3.68	3.66	3.68
設問6（地域貢献活動）	3.63	3.71	3.72
設問7（政策提言活動）	3.63	3.65	3.68
設問8（情報誌（会報））	3.81	3.83	3.85
設問9（ホームページ）	3.55	3.60	3.58



※ 「大変満足」を5、「やや満足」を4、「普通」を3、「やや不満」を2で計算

- 設問1 「経営者協会の会員であること」
 設問2 「経営者（会員）交流事業」
 設問3 「事務局が行う情報提供・発信」
 設問4 「研修・セミナー事業」
 設問5 「見学会・視察会（企業・工場見学等）」
 設問6 「地域貢献活動」
 設問7 「政策提言活動」
 設問8 「情報誌（会報）」
 設問9 「ホームページ」

年度	設問1			設問2			設問3		
	26年度	27年度	28年度	26年度	27年度	28年度	26年度	27年度	28年度
平均評価	4.02	3.97	4.01	3.74	3.79	3.78	3.93	3.94	4.00
大変満足	74	95	105	47	63	67	67	80	99
やや満足	107	119	132	87	119	131	110	136	138
普通	95	100	94	140	130	129	94	97	90
やや不満	1	2	5	3	0	6	2	1	5
大変不満	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年度	設問4			設問5			設問6		
	26年度	27年度	28年度	26年度	27年度	28年度	26年度	27年度	28年度
平均評価	4.01	3.94	3.94	3.68	3.66	3.68	3.63	3.71	3.72
大変満足	70	77	83	49	58	65	49	58	61
やや満足	124	143	152	78	88	92	78	105	120
普通	77	86	94	143	154	165	143	147	145
やや不満	3	5	5	4	3	4	4	1	4
大変不満	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年度	設問7			設問8			設問9		
	26年度	27年度	28年度	26年度	27年度	28年度	26年度	27年度	28年度
平均評価	3.63	3.65	3.68	3.81	3.83	3.85	3.55	3.60	3.58
大変満足	39	46	54	52	71	79	31	45	45
やや満足	84	116	117	103	123	126	76	95	99
普通	147	146	151	119	119	121	166	167	175
やや不満	1	4	4	1	2	3	1	1	1
大変不満	0	0	0	0	0	0	0	0	0

創立70周年記念式典及び29年度定時総会開催（予定）

平成29年6月7日（水）14時00分～18時30分
 水戸プラザホテル（水戸市千波町）

タイムスケジュール：

定時総会（14時00分～14時30分）

経営者協会10年間の活動を振り返る（14時40分～14時50分）

創立70周年記念式典（14時50分～15時30分）

感謝状贈呈

創立70周年記念講演（15時40分～17時00分）

演題「イノベーションとグローバル化」（仮題）

講師 新日鐵住金株式会社相談役 友野宏氏（経団連副会長）

祝賀パーティ（17時10分～18時30分）

（出席予定にお入れ願います）

政策委員会

春季労使交渉問題への対応および第8次中期運営要綱案について協議



2月9日(木)、水戸市・三の丸ホテルにおいて第4回政策委員会が開催された。

鬼澤邦夫会長の挨拶の後、高橋日出男副会長((株)協立製作所代表取締役社長)が議長となり議事を進めた。

会議では、澤畑専務理事より会務の状況が報告された。

次に、春季労使交渉・協議への基本的な考え方について、事務局より「本県において産業経済、雇用、消費に明るい材料が見られるものの、なお、景気の

先行きは不透明感を拭えない状況にある。経営側の基本スタンスは、①適切な総額人件費管理のもと、自社の支払い能力に基づいて決定すべき、②経済の好循環を力強く回すという「社会的要請」を引き続き重視する、③働き方・休み方改革の実現を視野に置いた対応を検討すべき、④基本給を一律で引き上げるベースアップに限らず、手当や賞与・一時金など多様な選択肢から検討すべきものである」と説明。原案通りの考え方を会員に広報し、連合茨城との懇談会で労働側に理解を求めていくこととなった。

その後、第3回会員満足度調査と会員増強状況について協議した後、第8次中期運営要綱(平成29年度～31年度の中期計画)について、事務局より、「関係者の尽力により1,000社会員体制が出来たが、これからはより経営者協会の事業内容

が問われる。その充実のために、会員訪問活動を積極的に展開しそこで得られた会員の声に耳を傾け、会員・地域から「頼りにされる」茨城経協へと進化をめざす内容で取り組みたい」との説明があり、原案どおり承認された。

また、創立70周年記念事業については、記念式典を平成29年度に併設し開催する。また、年間を通じて記念事業を開催していくことで承認された。

平成28年度収支決算見込み、平成29年度収支予算案の概要について、「28年度決算は特定資産を取り崩す事なく、ほぼ予算どおり決算できる見通し。29年度の収入は会員増の効果が、会費収入が増え、財政の安定する見通しである」ことが事務局より報告された。平成29年度収支予算案は3月の政策委員会を経て理事会に提案して行くこととなった。

産業政策委員会

第2回産業政策委員会・茨城県との意見交換会を開催

産業政策委員会(委員長 深澤正勝氏 日立セメント(株)監査役)は、2月15日(水)、ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸において、第2回産業政策委員会・茨城県との意見交換会を開催した。

産業政策委員会では、平成29年度の事業活動ならびに平成29年度会員ニーズアンケート調査について協議がなされた。平成29年度事業活動については、9月から10月上旬を目処に「県政要望書」を提出することを前提に、スケジュール化していく事務局案が承認された。また、平成29年度会員ニーズアンケ



ート調査においても、4月から5月中旬にかけて実施するなかで、会員から寄せられた意見・要望については、前回に続き、県政だけでなく、指定地方行政諸機関に対しても必要に応じて要望・提言を行っていくこととした。

続いて、同日開催された茨城県との意見交換会では、冒頭、深澤委員長より、本会合の趣旨や県政要望に対する回答についての御礼が述べられた。

次に、鈴木商工労働観光部長からは、商工労働観光部としての「人口減少問題」、「創業支援と起業家教育」、「IoT等の成長分野支援」「県産品の輸出拡大への支援」などへの取組みについて説明していただいた後、県の産業施策に理解を示し、ご尽力いただいているとして当協会への謝辞が述べられ、引き続き県内企業の発展を支援していきたいとご挨拶をいただいた。

意見交換会では、平成28年度産業政策に関する県政要望全50項目より、「地方創生」、「中小企業支援」「地域特性の課



題」の観点から、当委員会があらかじめ県に対して意見交換を求めた8項目について、当該部局の方々より現況および今後の対応等の説明を受けた後、委員からの様々な質問や提言を通じた活発な意見交換が行われ、行政施策についての理解を深めることができた。

最後に、今泉副委員長兼会員ニーズ調査部会長より、行政、企業と立場は異なるが、目指すべきは県内経済の発展であることから、これまで以上に連携を強化し、本県発展に繋げていきたいとの閉会挨拶がなされ、散会となった。

産業政策委員会

第2回会員ニーズ調査部会を開催

産業政策委員会（委員長 深澤 正勝氏 日立セメント（株）監査役）の会員ニーズ調査部会（部会長 今泉 良氏（株）日立製作所電力ビジネスユニット日立事業所総務部長）は、2月7日（火）、当協会会議室において、第2回会員ニーズ調査部会を開催した。

今泉部会長の開会挨拶後、例年開催している茨城県と産業政策委員会との意見交換会（2月15日開催）および次年度の活動（案）、次年度の会員ニーズアンケート調査方法について協議検討を行った。

茨城県との意見交換会においては、10月7日（金）に提出した「平成28年度県政要望」に

もとづき、「地方創生」「中小企業支援」「地域特性の課題」などの観点から8項目に関する進捗状況や今後の計画等について茨城県商工労働観光部を中心に説明していただき、それらをもとに意見交換を行うこととした。また、次年度についても、アンケート内容のなかで「まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する意見、要望」や「行政諸機関への要望」に関する項目を設けるなど、幅広いニーズの吸収に努めることとした。

また、当協会が会員企業に対して先日実施した「第3回会員満足度調査」結果を踏まえ、県政要望のフィードバックをより効果的に行えるよう会員企



業への周知方法を見直すこととした。

これらの協議結果を踏まえ、2月15日（金）開催の第2回産業政策委員会にて議案審議を行い、今後の活動を進めていく。

地域関係委員会

地域関係委員会 売上アップセミナーを開催



地域関係委員会（委員長 徳成卓也氏 東日本電信電話（株）理事茨城支店長）は2月8日（水）、茨城県産業会館において“売上アップセミナー”を開催。48名が参加。

当研修は、同委員会活動テーマである“茨城のイメージアップ”に寄与するため、初対面での好感度アップ法や、お客様のおもてなし等について学ぶべく開催されたもの。テーマを「出会った0.1秒であなたの販売力が劇的に変わる～売上向上

は第一印象から～」とし、講師には、印象エキスパート（株）代表取締役の柳沼佐千子氏にご指導頂いた。柳沼氏は、（一社）日本おもてなしトレーナー協会代表を務める。

研修は机を配置せずイスのみで進められ、好感度が形成される裏付けとなる理論と、好感度アップに向け、参加者がケーススタディをもとに体感するスタイルで進められた。

柳沼氏は「普段の日常生活において、特に意識はせずとも何気ないしぐさや立ち振る舞いが他人に何らかの印象を与えており、好感がもたれる理論を理解しておく、他人との関わり合いは変化していく」と解説。

研修中盤以降は、好感度をもたれる or もたれないの違いを体験するなど、3時間という限られた時間ではあったが、参加者間の交流も深められながら楽しく進められた。

参加者アンケートでは、「私はディーラーに勤務し、営業14年、店長6年、現在人事部にいます。私自身、営業時代は笑顔の練習をしていました。店長になり、社員にその大切さを伝えたくて、朝礼に笑顔の練習を導入しましたがついてきてくれませんでした。現在の立場は人事部で研修担当でもあり、本日の学びを活かし再度トライしたいと思います」、「この研修で、日常生活を送る中で非常に大切なことを改めて教えて頂きました。職場、家族、友人、大切な人と生活する中で、第一印象でその人の印象が形成されてしまうことを痛感しました。本日教えて頂いたことを、実践していきたいと思えます。本当にありがとうございます。ありがとうございました。」といった感想が多く寄せられた。

青年経営研究会

青年経営研究会が役員会・新年交流会を開催

青年経営研究会（会長 杉崎和彦氏（株）杉崎計器代表取

締役）は、1月26日（木）～27日（金）、五浦観光ホテルにて役

員会・新年交流会を開催、当日は会員・OBの31名が参加した。

役員会では、本年度上期事業の報告と今後開催が予定されている例会内容について協議がなされ、4月にメンバー間の交流を深める例会、5月下旬に九州・熊本方面の視察会開催が承認された。

新年交流会では、交流拡大委員会(委員長 木瀬裕氏(株)下妻スポーツ代表取締役)の取り纏めにより進められ、併設の講演会講師には青研メンバーでもある研修・外交委員長の中尾隆友氏(アセットベストパートナーズ(株)代表取締役)より、「世界経済と日本経済」と題

してお話を頂いた。

中尾氏は「トランプ政権が誕生し、今後様々な経済政策が展開されると思われるが、米国経済において注目すべきは長期金利の推移である。一方で、日本経済においてはプラス成長とマイナス成長の一進一退が続くのではと予想される。何れにしても世界経済の状況はトレンドの転換点を見極めるのが最も重要であり難しい」と語り、各国の統計指標を分析しながら、世界経済の動向について分かり易く解説頂いた。

講演終了後には、新年会を兼



ねた交流会が併設され、メンバー間の交流が深められた。

支部だより

MAR. 2017

Branch office report

県北地区支部

岡田拓也県議会議員との懇談会を開催



県北地区支部(支部長 大原弘彰氏(株)茨城サービスエンジニアリング代表取締役社長)は2月17日(金)、岡田拓也県議会議員との懇談会を(株)常

陽銀行高萩支店会議室において開催した。

開会にあたり大原支部長が「当地区支部ではこれまで北茨城市、高萩市から選出されました県議会議員と懇談会を開催して参りました。平成26年3月に茨城県議会議員選挙にて初当選されました岡田様と懇談の場を設けさせて頂くのは、今回がはじめてとなります。岡田様には、本日はこれから、『茨城県における成長産業振興と企業支援に対する取組』をテーマにご講演いただき、その後、本日ご参加のみなさまと意見

交換を行って参りたいと思います。ご参加のみなさまには、忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております」と挨拶した。

岡田県議会議員の講演では、現在進められている「いばらき成長産業振興プロジェクト」の概要、商店街の活性化に向けた支援策、東京圏等からの人材選流と地元定着の促進など、地方創生に向けた各施策についてご説明をいただいた。

意見交換では、人口減少社会における備えやその対策、産業活性化施策などについて幅広い意見が出された。

常陸・那珂地区支部

福島第一原子力発電所を視察

常陸・那珂地区支部(支部長 柳生修氏 コロナ電気(株)代表取締役社長)主催による視察会が2月10日(金)に開催され、今回は東京電力(株)福島第一原子力発電所を訪れ、震災以降の復旧作業状況の視察が行われた。参加者は22名。

参加者一行は勝田駅よりバスで未来館(旧エネルギー館、福島県双葉郡富岡町)まで移動、未来館にて東京電力ホールディングス(株)福島第一廃炉推進カンパニー運営総括部視察センター課長の綿引泰斗氏よ

り震災後の復旧状況について解説頂いた後、バスを乗り換え、福島第一原子力発電所へ向かった。

発電所構内をバスで移動しながら、引き続き綿引氏より除染作業状況について解説を頂き、1号機や2号機など以前として線量の高いエリア近くでは、手元にある線量計でも高い数値を示していた。

現在、発電所構内で廃炉作業に従事する作業員は6千人弱。今後40年にわたる廃炉作業を着実に進めるため、地元企業は

じめ協力企業の方々に継続的に支援頂けるよう労働環境の改善にも取り組んでおり、復興に向け、官民一丸となって取り組まれている様子を伺った。





常陸・那珂地区支部（支部長 柳生修氏 コロナ電気（株）代表取締役社長）は、2月16日（木）、ひたちなか市のホテルクリスタルパレスにおいて、特別講

演会・交流パーティを開催し、98名が出席した。特別講演会では、「毅然と生きた日本人」にフォーカスし、ノンフィクション作家として活動されている作家 門田隆将氏をお招きし「福島第一原発所長 吉田昌郎氏に学ぶ『修羅場のリーダーシップ』～極限状態の中で闘った、一人のリーダーの生き様とは～」と題してご講演頂いた。

「6年前の福島第一原発事故で、何が起き、現場の人々は何を思い、どう行動したのか」ヴェールに包まれたあの未曾有の事故を、徹底的な取材により当事

者たちの証言やインタビューをもとに綴られた数々のエピソード、また政府と東京電力の間で現場を取り仕切ったリーダー・吉田所長の行動にスポットを当て、死を覚悟した極限での人間の強さと揺るぎない決意について、迫力ある口調でお話いただいた。

聴講者からは「マスコミ等の報道でしか知り得なかった数々のエピソードを知り大変感動した。最前線で困難を打破すべく、行動した多くの方々に改めて敬意を表したい」といった感想が寄せられた。

取手・龍ヶ崎地区支部

「人の5倍売る技術～テクニックよりも大切なもの～」をテーマに講演会を開催

取手・龍ヶ崎地区支部（支部長 九鬼理宏氏 キリンビール（株）取手工場長）は、2月21日（火）、キヤノン（株）取手事業所において、講演会および講師を囲む交流懇親会を開催した。

講演会では、「人の5倍売る技術～テクニックよりも大切なもの～」と題し、伝説のカリスマ販売員 茂木久美子氏に、ご講演いただいた。

茂木氏からは「お客様は「誰から買うのか、自分の為に何をしてくれるのか」を求めていると思います。しかし、これに応える術は残念ながらマニュアルにはありません。そのため私は、自分らしさやおもてなしの心を大切に、お

客様と接してきました。そこには、笑いあり涙ありの“感動”があります。感動のあるお店こそが、他のお店と差別化をはかる企業ブランドなと思います」と、現場で鍛えて磨きぬいてきた実体験を例に挙げ語られた。

茂木氏は山形新幹線車内販売員時に、東京⇄山形の一往復半で他の販売員の7～8倍もの驚異的な売上を記録。その群を抜く売上が評価され、最年少でJR東日本管内の車内販売員約1,300人の中で3人しかいないチーフインストラクターに抜擢。車内販売のカリスマとして、テレビや新聞など様々なメディアで取り上げられ、車内販売員、そして



後進の指導をする傍ら、現在では講演・セミナーを中心に活動をされている。

講演会終了後には、茂木氏を囲んでの交流懇親会も行い、参加各社から講師に対し積極的に質問をするなど、交流を深め散会した。

合同臨地研修会を開催

カガミクリスタル株式会社を見学



水戸地区支部人事労務担当者会議（代表幹事 川上康郎氏 茨城交通（株）常務執行役員総務部長）、鹿行地区支部労働問題研究会（座長 永松才寛氏 新日鐵住金（株）鹿島製鐵所 労

政人事室長）は、合同の臨地研修会を2月22日（水）に開催、24名が参加した。

今年度は、龍ヶ崎市のカガミクリスタル株式会社を見学。同社は、昭和9年に日本初のクリスタル専門工場として創業後、ニューヨーク万国博覧会名誉賞、ブラッセル万国博覧会グランプリ賞受賞など、国内外の数々の賞を受賞してきた。そして、熟練の技術により生み出される多くの製品が、正餐用食器として皇室、宮内庁の御用達となっている。

当日は、「徹底した5Sへの取り組み、熟練技能者の技能伝承」

をテーマとし、同社の製造現場や関連施設を見学した後、代表取締役の望月英俊氏、取締役生産部長の横井浩司氏より、事例発表や様々な取り組みについてご説明いただいた。

参加者からは、「社内の安全運動に加え、いわゆる5Sの徹底度合いが全然違う。大変勉強になった」、「工場内がとても整理されており、無駄がない。高品質へのこだわりが十分感じられた」、「熟練労働者の技能伝承に向けた人材教育が徹底されている」などの声が寄せられ、大変充実した研修会となった。

『平成28年度会員増強運動』の状況

～お蔭様で1,100社の大台に突入 会員数1,106社!～

【会員の状況】

(平成29年 2月28日現在)

項目	支部	県北	日立	常陸・那珂	水戸	土浦・石岡 つくば	取手・ 龍ヶ崎	県西	古河・坂東	鹿行	合計
27年度末会員数		40	103	94	283	162	69	75	53	102	981
入会数		6	1	17	37	23	9	23	5	32	153
退会数			6	1	3	5	5	1	4	3	28
会員数		46	98	110	317	180	73	97	54	131	1,106
前年度比											+125

平成28年度目標 (第7次中期運営要綱目標)	1,060 (1,000)
---------------------------	------------------

目標比	+46
-----	-----

プラス70会員紹介キャンペーンについて

今年7月、茨城県経営者協会は、創立70周年を迎えます。

皆様のおかげをもちまして当会の会員数は、上記のように順調に増加、年度目標を達成し、過去最高を更新しております。誠にありがとうございます。

さて、当会が創立70周年を迎えるにあたり、会員や地域の皆様からさらに頼りにされるための礎を築くべく、皆様のご紹介により会員数純増70社を目指す会員紹介キャンペーン（平成28年12月15日～平成30年3月末日）を展開中です。

【キャンペーンの進捗状況】

(平成29年 2月28日現在)

プラス70会員紹介キャンペーンがスタートし、3ヶ月弱ですが、皆様のおかげをもちまして、55社のご紹介及びご入会を頂きました。当初目標としていたプラス70社まであと15社の状況まで来ております。皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。「自社の経営を高めたい」、「地域に貢献したい」企業様のご紹介をお待ちしております。詳しくは茨城県経営者協会事務局（TEL029-221-5301）までご連絡下さい。

	県北	日立	常陸・那珂	水戸	土浦・石岡 つくば	取手・ 龍ヶ崎	県西	古河・坂東	鹿行	合計
支部関係者	2	2	1		2	3	2	2	14	28
本部役員 事務局			3	9	5	1	3	1	5	27
合計	2	2	4	9	7	4	5	3	19	55

プラス70会員紹介 キャンペーン目標	70
-----------------------	----

目標比	-15
-----	-----

※支部関係の実績は、紹介頂いた方の所属支部ベースでカウント。

新入会員紹介

株式会社荒佐

■代表取締役 荒野 吉生



Data
所在地／鉾田市鉾田2267
T E L 0291-32-2008
F A X 0291-32-2091
業 種／農業関連商品販売業
従業員／12名

Appeal point
弊社は、昭和29年それまでの個人商店から法人として創立。以来地域の主産業である農業関連の商材（肥料・農薬・資材・種苗等）の販売と、米穀の集荷販売を業務として現在に至っています。年々めまぐるしく移り変わる農業形態に対応し、食の安全に寄与いたします。

茨城ヤナセ株式会社

■代表取締役 菅谷 忠



Data
所在地／水戸市千波町1987
T E L 029-241-0031
F A X 029-243-7795
業 種／小売業
（自動車ディーラー）
従業員／66名

Appeal point
弊社は1964年（昭和39年）に県内初の輸入車販売会社として創立されました。
現在はメルセデス・ベンツとスマートを取扱車種とし、メルセデス・ベンツ水戸、けやき台CCC（認定中古車センター）、メルセデス・ベンツ取手、メルセデス・ベンツ日立の4拠点にて展開しております。
輸入車を通して喜びや安心をお客さまに提供し、ご購入からアフターサービスに至るまで心からの満足をお届けすることを社員全員努力してまいります。

株式会社エグゼ

■代表取締役 太田 嘉隆



Data
所在地／神栖市神栖1-9-1
T E L 0299-93-1515
F A X 0299-90-1911
業 種／コンビニエンスストア事業
従業員／14名

Appeal point
弊社は昭和四十二年に神栖市神栖地区に、太田酒店として創業し、平成六年三月に、店名をエグゼリカーズと変更し地元の飲食店を顧客として販売をしてきました。しかしながら、個人商店の酒類販売に将来の不安を感じ平成七年十一月に酒店からコンビニエンスストア事業に業態変更し同時に社名を株式会社エグゼとして改名し法人化しました。現在は本店事業所があるセブンイレブン神栖一丁目を一号店を始めとして平成九年七月に二号店の鹿嶋宮中店、平成十四年七月に三号店神栖息栖稲荷店、翌年七月に四号店鹿嶋平井店、その後五店目の神栖済世会記念病院前店を平成十九年十月に開業して、現在は地元の神栖市及び鹿嶋市において、地元の人に密着したきめ細かいサービスをするべくお仕事をさせていただいております。コンビニと言っても今は、二十四時間一年中、お弁当を代表する食品はもとより、税金の収納業務、通販商品受け取り、及び支払い、銀行業務まで行っております。ご承知のようにコンビニの看板名が違っていても、店舗にある商品は九十%同じようなものですが、その他の十%の違いを大切に、地元にあった商品、サービスを提供して、近隣の皆さまから、なくてはならないコンビニを目指して地域に貢献していきたくと思っています。

社会福祉法人神樹会サントピア鹿島

■理事 小野 一威



Data
所在地／鹿嶋市宮中5200
T E L 0299-83-2311
F A X 0299-83-2312
業 種／老人介護事業
従業員／36名

Appeal point

当施設は平成2年に設立された老人介護施設です。地域に密着した高齢者福祉施設を目指し、また入所者の人格を尊重し、安心して安らぎが得られるような良質なサービスを提供しています。①老人介護施設、②短期入所者介護施設（ショートステイ）、③通所介護施設（デイサービス）などの運営をしています。

株式会社セイコウ

■代表取締役 田上 寿雄



Data
所在地／石岡市正上内1-1
T E L 0299-22-5365
F A X 0299-23-1232
業 種／建設業
(プラント設備関係)
従業員／18名

Appeal point

1996年創業以来、長年にわたり、発電所・焼却場・製鐵所等設備等に使用するエキスパンションの専門メーカーとして現在にいたっております。当社は、エキスパンションに関して、現場調査・設計・製作・製品取付工事など一貫して行えます。また、当社は各種プラント設備のダクト・排水槽等を大型吸引車を使用して、清掃作業もおこなっております。

これから、会員の皆様には、なにかとお世話になると思いますが、よろしくお願い致します。

株式会社水工エンジニアリング

■代表取締役 吉川善啓



Data
所在地／水戸市笠原町1220-1
T E L 029-297-3500
F A X 029-243-2751
業 種／建設コンサルタント
従業員／32名

Appeal point

弊社は昭和57年ひたちなか市に創立、平成28年に本社を水戸市へ移転致しました。現在は水戸本社とひたちなか支社を事業拠点とし、公共事業と民間開発業務を手掛ける建設コンサルタントとして、主に都市計画や都市土木という分野で、まちづくりや社会インフラ整備に関わる各種調査・計画・設計・監理などの業務をおこなっております。

「創造・活力・誠実」を会社の理念とし、クライアントの課題解決や最適な技術提案を最重要事項として技術力の向上に努めて参りました。今後も日々変化していく社会情勢や業界動向を注視し、コンサルタントとしての技術向上と品質向上、多種多様な場面に対応できる応用力を高めて地域社会に貢献いたします。

株式会社つくばFC

■代表取締役 石川 慎之助



Data
所在地／つくば市稲岡66-1
イオンモールつくばA区画
スポーツシュールつくば
T E L 029-896-3553
F A X 029-896-3670
業 種／サッカークラブ
従業員／20名

Appeal point

「世界一幸せなクラブ」の実現を目指し、地域に密着したクラブチーム：つくばFCの活動を、NPO法人つくばフットボールクラブと連携して展開しています。本物の芝生と夢の舞台を子どもたちに、引退のないクラブを私たちに提供できるように努力しています。NPO法人がスポーツの普及に関する事業を担い、弊社はスポーツ施設の運営・管理や、コーチなど人的資源の提供、スポーツターフ（天然芝および人工芝）の販売やグラウンド整備事業等を行っています。地域の力を結集し、Jリーグ・なでしこリーグへの参入を目指します。

テックスエンジニアサービス株式会社

■代表取締役 杉山 治



Data
所在地／鹿嶋市光3番地
T E L 0299-84-3827
F A X 0299-85-3075
業 種／人材派遣・職業紹介事業、
広告メディア事業
従業員／18名

Appeal point

テックスエンジニアサービスは、新日鐵住金グループの一員である日鉄住金テックスエンジニア株式会社の小会社であり、エンジニアリング技術者の派遣事業および、広告メディア事業を行う会社です。派遣事業では、機械・電気などの建設エンジニア、コンピュータ・システムエンジニア、設備のメンテナンス技術者の派遣を専門的に行うほか、広告宣伝とウェブ、情報システムといった広告メディア事業全般を展開しております。今後とも、「お客さまの満足を第一に信頼される会社」づくりに邁進してまいります。

株式会社藤信フード

■専務取締役 佐藤 秀宣



Data
所在地／神栖市知手中央3-6-17
T E L 0299-96-5935
F A X 0299-96-3210
業 種／社員食堂及社員寮食事提供
従業員／25名

Appeal point

昭和52年に設立以来、鹿行地域において、工場の社員食堂・独身寮の委託業務を行っております。弊社では、社員の方々の健康に配慮した栄養ある献立を考え、食事を通じて企業様に貢献したいと考えております。

日鉄住金パイプライン&エンジニアリング株式会社 鹿島支店

■鹿島支店長 川島 勝三



Data
所在地／鹿嶋市新浜21番地
T E L 0299-82-0707
F A X 0299-82-0759
業 種／建設業
従業員／39名（鹿島支店のみ）

Appeal point

昭和37年に設立され、平成24年に日鉄パイプライン(株)と住友金属パイプエンジニア(株)が経営統合し、日鉄住金パイプライン&エンジニアリング(株)として発足しました。鹿島支店は、昭和42年より新日鐵住金(株)鹿島製鐵所殿の構内配管工事や設備配管工事を主に行ってまいりました。これまで培ってきた技術と経験をベースに、お客様のニーズに、また社会からのニーズにお応えし、社会に貢献出来る存在を目指して参ります。

株式会社みうらや

■代表取締役 三浦 敏克



Data
所在地／神栖市波崎8711
T E L 0479-44-1120
F A X 0479-44-3641
業 種／食品製造業
従業員／20名

Appeal point

茨城県なのに電話の市外局番は、千葉県と同じ0479で始まるという最東南の神栖市波崎で明治年間より水産加工業を営んでおります。天然資源の少ない日本において黒潮と親潮、ふたつの海流がぶつかる豊かな前浜に恵まれ、漁獲される水産物を冷凍冷蔵、保管・輸送システムを向上させながら食生活を支え、海の恵みがいつまでも身近で安全に届くように地域とともに知恵を絞って貢献していくことを使命にしております。

今後、協会で新たな出会いや気づき学びを吸収させていただきながら前浜（地域）が 発展できるように勉強させていただきます。

4月の茶花…藤 もくれん しゃくやく みづき おきなぐさ 一人静 山吹。

4月の話材…卯月…4月。「卯」は万葉集では初夏を示すのにしばしば用いられるウツギ（空木）、「卯の花」に因んだようだ。十二支四番目の動物が卯（兎）であることのほか、田植えの時期であり「種、苗を植える月」さらには「苗植月」、「植月」、「種月」がある。

話材1. 心のアプローチ

心を理解するためには言葉では限界がある。心を理解するためにはどのようなアプローチが必要であろうか。人の心を捉えることは容易なことではない。心を理解する方法にロールシャッハ法があるが、相手と自分の位置それぞれを個の存在及び環境から見ることによって、自分自身も環境の中の1人であるという認識が必要である。相手の心をどのように理解していくのか、「心のアプローチ」という架け橋によって相手と信頼関係を醸成したいものだ。

話材2. Quality / 品質または質の良いこと

クオリティ・オブ・ライフ (quality of life QOL) という用語がある。生活の質、人生の質、生命の質などと訳されている。1960年代、欧米諸国は物量充足の発展を遂げたが、豊かさの中の非人間性が問われるようになり、「人々に良い暮らし」として生活に質 (QOL) が叫ばれるようになった。

QOLには、その人らしく生きようとする個人の生命観、人生観、価値観、心身の健康、社会・環境適応などが含まれる。QOLは、身体的健康、ウェルビーイング (well-being)、満足感や幸福感、自己実現、主観的体験などで評価されることが多い。

話材3. 働き方改革

働き方改革とはQOLの向上が欠かせない。ソクラテスは、「なによりも大切にすべきは、ただ生きることではなく、よく生きることである。」と言い、プラトンは、「善き生 (good life)」と言った。

製品品質や業務品質という用語は、製品や業務の「良し悪し」を表す。品格とか品位は人が醸し出す全人格であるが、人間の行動に関する品質はどのように表現できるのであろうか。「ただ生きることではなく、よく生きることである」ということに焦点を当てると「行動品質」となる。行動品質の向上こそ働き方改革への「心のアプローチ」ではなかろうか。

4月の動機づけスピーチ

1. インフォームド、インフォームドコンセント、インフォームドチョイス&インフォームドアセント

これらは、医学や医療で使用されている用語であるが、これからは実業界においても必須である。インフォームドとは、知識のある、詳しい、よく知っている、ということである。知性、知能、理解力を意味するインテリジェンス (intelligence) とはやや異なる。

インフォームドコンセントは、正しい情報を得た (伝えられた) 上での合意である。「説明、理解」および「合意 (consent)」いずれもインフォームドコンセントには欠かすことができない。合意とは、双方の意見の一致である。インフォームドコンセントには手順がある。説明する⇒納得する⇒納得を確認する⇒合意を形成する⇒役割を認知する⇒役割通りに行動する⇒行動を評価する⇒評価結果を活かす、これが手順である。

インフォームドチョイスは、選択の重要性に着目したものであり、十分な説明をし、受容するかどうか選択させることである。

そして、インフォームドアセントである。子どもも人間としての尊厳を保つのに必要な権利を持っているから親や保護者を対象とするインフォームドコンセントだけではなく、子どもを対象とした「インフ

「インフォームドアセント」が必要であるという考えである。「アセント (assent)」とは、提案や意見などをよく考えたあとで快く同意し賛成するということである。インフォームドアセントの実践などが引き金になって、表記は「子供」ではなく、「子ども」になった。日本には成長を表す年齢の呼び名がある。1歳から9歳までの語尾は、「ひとつ…このつ」であるが、10歳は「とうでう」である。「つ」が「う」に変わる年齢が10歳である。10歳になったら親の連れを表す「子供」でないという意味合いがある。

2. 概念化と言葉

言葉（ことば）は、話す、書くなど行為することによって情報の伝達手段となりうるものの総称である。言葉は、心、気持ち、思い、考え等を表す手段の一つである。

言葉は、伝達者間の取り決めによって伝達可能となる。通常の言語、手話、ボディーランゲージ等の他に狼煙、旗、モース符号、コンピュータ言語など特定の規則に則った音声符号や電気信号等がある。

言葉は、二人以上の者が定義することによって成立するから流行語、外来語、方言、暗号、若者言葉など時間や地域によって多数の言葉が存在する。

全ての言葉には対応する概念が少なくとも一つは存在する。人は言葉によって認識を共有することが容易となる。言葉に出来ない思考や概念は伝達することが困難である。概念とは、明確に識別することが困難な物、物質、集合体、動き、行為を始めとする全てのものを容易に認識し識別することが出来るように特定のものに見なす行為（抽象化）によって生じた。

人は、概念によって、類似性でまとめて考えたり、同じ動きと見なしたりする。例えば、次のとおりである。

①集合体を表す言葉

宇宙、世界、社会、国家、政府、集落、世帯など。

②共通性で表す言葉

人、手、足、動物、植物、道具、自転車、友達など。

③動きを表す概念

歩く、走る、跳ねる、止まる、起きる、寝るなど。

④関係性を表す概念

貴方、私、上、下、右、左、東、西、南、北など。

⑤思考を表す概念

思う、考える、論じる、検討する、認識するなど。

県内の知見にヒントあり

日本いや、茨城県、いや大子町に「袋田の滝」有り。日本三名瀑のひとつである。高さ120m、幅73m、岩壁を4段に流れ落ちる様子から、あるいは、四季に一度ずつ来て見なければ本当の良さはわからないということから、別名「四度の滝」とも呼ばれている。

花もみち経緯にして山姫の錦織出す袋田の瀧（西行法師）

袋田の滝の冬は「氷瀑」である。これからの時季、袋田の滝でマイナスイオンを存分に浴びたい。袋田の滝から程ないところに温泉がある。アルカリ性の湯質で、肌にやさしく柔らかい湯として親しまれている。

袋田の滝に加えて大子町のもう1つの滝、高さ17m、幅12m、「月待の滝」も名瀑である。普段は二筋、夫婦滝であるが、水量が増すと子滝が加わり親子滝になる。古くから安産、子育て、開運を祈る二十三夜講の場とされてきた。二十三夜の月の出を待って婦女子が集ったところから月待の滝と呼ばれ、胎内観音をお祀りしている。水に濡れることなく滝の裏に入ることができることから別名を「裏見の滝」または「くぐり滝」という。

袋田の滝の四度の滝には起承転結、月待の滝の三筋には序破急に想いが至る。

起承転結（きしょうてんけつ）とは、四行から成る漢詩（近体詩）の絶句の構成を指す。順に起句、承句、転句、結句と呼ぶ。起承転結は人生の生き方に通じる。

守破離（しゅはり）は、茶道、武道、芸術等における師弟関係のあり方の一つ。師匠に言われた「型」を守るところから修行が始まる。「型」を自分と照らし合わせてより良いと思われる『型』をつくり、既存の型を破る。やがて、『型』から離れ、自在になる。これは仕事にも通じる。支援のもとに業務を遂行する。業務を分析し改善、改良する。新たな知識や技術を開発する。

「ただ生きることでなく、よく生きることである」、これは、大子町いや茨城県の自然が教える啓示ではなからうか。（完）

茨城の子ども食堂の現状報告

茨城NPOセンター・コモンズ代表理事 横田 能洋

さる2月22日に水戸で「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー in 茨城」が開催されました。コモンズはその実行委員会の事務局を務め、ここ1、2年で各地で始まった子ども食堂や学習支援を運営する団体のネットワークに取り組んできました。その一環で各団体に行ったアンケートの結果がまとまったのでその一部を紹介します。

- ・運営形態

任意団体6、NPO法人5、生協2、その他の法人が2と組織形態は多様

- ・活動エリア

県南7、県西4、県央3、県北2で南西地域がやや多い。

- ・活動場所

公共施設が6、地域の店舗が2、病院1、教会1

- ・場所の公開

約7割が公開し3割は一部の人にだけ声をかけている

- ・告知方法

個別声かけ8、チラシ6、市報4、新聞3、ネット3

- ・活動の目的

地域での子育て8、貧困児

童の食の支援7、居場所づくり13(複数回答)

- ・活動頻度

月1回が8、週1回が1、週2、3回が1

- ・曜日と時間帯

平日が7割。夕食が7割、昼食が3割。平日の夕方が多い。

- ・対象

貧困世帯の子のみは2、子どもだけが5、多世代が6と対象は多様

- ・貧困児童割合

貧困世帯の子が9割以上は2、3～4割が2、2割未満が3

- ・参加人数

子ども10人未満が3割、10～20人が3割、20人以上が4割

- ・ボランティア

5人未満が3割、10人未満が4割、10名以上は2割

- ・参加費

子どもは無料と100円が半々。大人は無料4、100～200円2、300円4

私たちは「子ども食堂」を子どもが一人でもこられて無料または安価で食事が食べられる地域の居場所と定義してい

ます。家庭環境により満足な食事が得られない子や孤食をしている子のためにと思いつつも、「貧困な子のため」とするとレッテルが貼られてしまうことを懸念し、誰もがこられる場として月1回程度開き始めたところが多いようです。その中で本当に食で困っている子ども達に届けるためにどういう場づくりをすればいいのか、頻度を増やすとなると場所、材料費、スタッフをどうするのか、それぞれが試行錯誤をしています。

生活困窮世帯の児童生徒向けの学習支援は国の事業として行われるようになり、県内でも半分の市町村で行われていますが、子ども食堂や居場所は制度外の民間の取り組みですので多様な主体が関わられます。歩いていけるとところでたくさんの多様な子どもの居場所を作っていくことが大切です。現状は、各々が、とても少ない予算の範囲で、食の安全やプライバシーに配慮しつつ、どのような子たちと、どのように、どの程度関わっていくか考えながら取り組んでいます。企業の皆さんともこうした居場所づくりができればと思います。

Seminar & Business

セミナー・事業等のご案内

＝詳細は、事務局までお問合せください＝

セミナー名	日時	テーマ・内容	講師	会場
新入社員 セミナー	① 4月11日(火) 9:30~16:30 ② 10月20日(金) 9:30~16:30 20,000円	「セミナー2回+自宅学習 5ヶ月間で“プロ”を育てる」	株式会社ヒューマン・ブレンディ 代表取締役 田寺尚子氏	経営者協会 会議室

問合せ 一般社団法人 茨城県経営者協会
〒310-0801 水戸市桜川2丁目2番35号 茨城県産業会館11階
TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109
ホームページ <http://www.ikk.or.jp> Eメール info@ikk.or.jp

協会けんぽ茨城支部 加入事業所さまへのお知らせ

協会けんぽ茨城支部 平成29年度保険料率について

平成29年3月分(4月納付分)からの保険料率は次のとおり改定されます。

平成28年度	健康保険料率	9.92%	介護保険料率	1.58%
平成29年度	健康保険料率	9.89%	介護保険料率 (全国共通)	1.65%

- ◆ 40歳から64歳までの方(介護保険第2号被保険者)は、健康保険料率に介護保険料率が加わります。
- ◆ 変更後の健康保険料率と介護保険料率は、3月分(4月納付分)から適用されます。賞与については、支給日が3月1日分から変更後の保険料率が適用されます。
- ◆ 健康保険料率(9.89%)の内訳は、基本保険料率(6.16%)と特定保険料率(3.73%)です。

なお、平成29年度の都道府県ごとの健康保険料率は、支部別に「上げ」「据え置き」「下げ」のある改定となります。

協会けんぽの
健診で

生活習慣病の芽を
がんの芽を

早期発見!!

4月に届く健診の案内をぜひご覧ください!

生活習慣病予防健診(被保険者の健診)



- ◆ 対象は35~74歳の被保険者さま
- ◆ 補助があるから費用がおトク!
- ◆ 各種がん検診も同時受診!

事業所に一通届きます

特定健診(被扶養者の健診)



- ◆ 対象は40~74歳の被扶養者さま
- ◆ 市町村の集団健診や契約医療機関で手軽に受診できます!

ご自宅に届きます



全国健康保険協会 茨城支部
協会けんぽ

〒310-8502
水戸市南町3-4-57 水戸セントラルビル

【お問い合わせ】
☎ 029-303-1500 (代表)

心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ

PRIUS PHV



茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851
TEL 0120-090110
<http://www.nakama-online.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ



ちょっと
ヨリミチ

きょうも誰かと出会えるから
きょうも楽しいイベントがあるから
きょうも新しい発見があるから

いつでもそばにある
カスミです

株式会社 カスミ

〒305-8510 茨城県つくば市西大橋 599-1 TEL.029-850-1850
<http://www.kasumi.co.jp/>

KASUMI

カスミ公式フェイスブックページ
<http://www.facebook.com/kasumi.fanpage>



HITACHI
Inspire the Next



次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。

時代はいま、新しい息吹を求めて、大きく動きはじめています。

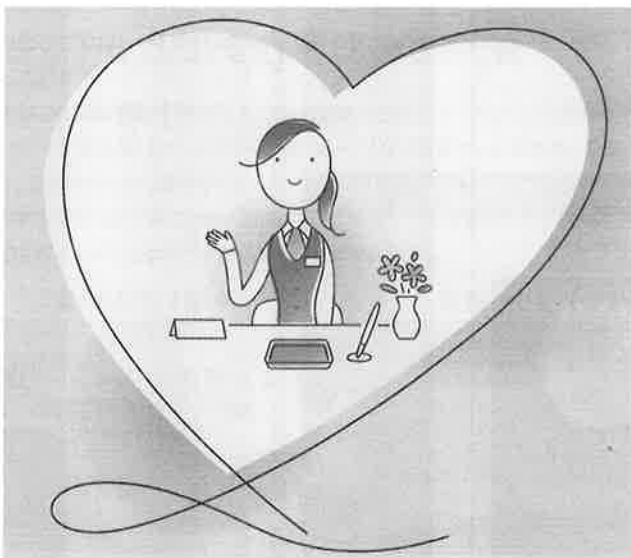
今日を生きる人々がいつも元気でいられるように、明日を生きる人々がいつもいきいきとしていられるように。

日立グループは、人に、社会に、次の時代に新しい風を吹き込み、豊かな暮らしとよりよい社会の実現をめざします。

日木の樹オンライン www.hitachinoki.net

株式会社 日立製作所 日立金属株式会社 日立化成株式会社 日立建機株式会社 日立工機株式会社
株式会社日立ハイテクノロジーズ 日立アプライアンス株式会社 日立オートモティブシステムズ株式会社

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。

 **常陽銀行**


MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

経営労務相談(無料)のご案内

当協会では経営労務相談の機能を強化し、会員企業様が抱える経営課題の解決に向けたサポート体制を整えております。

協会の顧問弁護士、社会保険労務士、税理士、経営コンサルタント等の各分野のエキスパートが様々な経営課題の解決に向けたアドバイスを致します。

開催日 毎週木曜日 ①10:00~12:00
(祝日は除く) ②14:00~16:00

会場 経営者協会・相談室
(水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F) 水戸駅南口より徒歩5分。

申込方法 下記TEL・FAXまたはE-mailにて各開催日の2日前までにお申込み下さい。

Flow chart

賃金関係 未払い残業代を請求されたがどのように対応すればよいのか？

労働組合 従業員の一人が加盟した労働組合から団体交渉を申し入れられた。交渉にどのように向かえばよいのか？

助成金制度 人員整理を回避するためにはどのような方法があるのか？活用できる助成金制度について教えて欲しい。

人事労務 人事制度の変更を行うとしたが、従業員から不利益変更ではないかと訴えがあった。

精神疾病 メンタル不全の従業員がトラブルを起こしたがどのように対応すべきか？

その他 事業承継の問題、資金繰りの問題、経営に関するこの課題全般の悩みについて。

人事労務相談室
が総合窓口
(ワンストップ)

課題解決に
最適な専門家を紹介

協会・顧問弁護士

清水謙弁護士
大和田一雄弁護士

社会保険労務士

税理士

経営
コンサルタント

その他
各専門家

お問い合わせ:一般社団法人茨城県経営者協会 事務局(後藤)
TEL:029-221-5301 FAX:029-224-1109
E-mail gotou@ikk.or.jp